

みんなで守る救急医療 ～私たちにできること～

今、新型コロナウイルス感染症の流行により、救急医療の現場に大きな負担がかかっています。

軽症患者で二次救急病院が混み合うと、重症患者の治療を妨げるばかりでなく、救急医療の現場を疲弊させ、本当に必要なときに適切な医療が受けられないといった事態につながります。

いつでも安心して救急医療を受けられるよう、軽症の場合は、日中にかかりつけ医の受診を心がけ、夜間や休日は初期救急である「夜間急病センター」や「休日当番医」の受診をお願いします。



函館市の救急医療体制

重症度に応じて3段階に分けて対応しています。

初期救急～夜間急病センター・休日当番医

軽症患者に対応します。詳しい検査や入院・手術が必要と医師が判断した場合は、二次救急へ転送します。

二次救急～市内の9病院が当番制で対応

重症患者（原則、救急搬送）に対応します。高度な医療が必要と医師が判断した場合は、三次救急へ転送します。

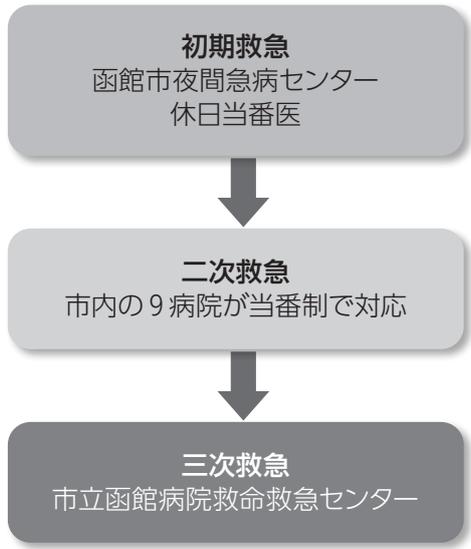
三次救急～市立函館病院救命救急センター

生命に危険がおよぶ重篤な患者に対応します。

緊急度

小

大



**命にかかわるような状態のときは
迷わず救急車を呼んでください!**

急な病気・ケガの時の受診について

①まずは日中の診療時間内に「かかりつけ医」へ

日中の診療時間内は、医療スタッフなどの診療体制が充実しており、診察や検査がスムーズに受けられます。できるだけ日中に受診しましょう。

また、急な病気やケガなど、いざという時に適切な処置が受けられるよう、自身の病歴や服薬などの記録、日頃の健康状態を把握してくれる「かかりつけ医」を持つことがとても大切です。

②夜間は「函館市夜間急病センター」へ

※ 3ページの診療案内をご覧ください。

午前0時以降はこちらへ連絡をお願いします。
救急医療情報案内センター 24時間体制で受診可能な医療機関を案内します。
フリーダイヤル 0120-20-8699 または携帯電話などから 011-221-8699

③休日は「休日当番医」へ

- 内科・外科 日曜・休日 午前9時～午後5時
- 小児科 日曜・休日 午前9時～午後5時 (変動あり)
- 眼科・産婦人科・耳鼻科 日曜 午前9時～正午

※ 休日当番医は当日の新聞、市HP (当日午前7時公開) でご確認ください。



小児救急 ～お子さんの急な症状で困ったときは～

北海道小児救急電話相談

夜間の急な発熱、下痢などの対処法や受診のめやすについて看護師等が助言します。 毎日午後7時～翌朝8時
短縮ダイヤル#8000または 011-232-1599

HP

市ではよくある症状と応急処置の方法などをまとめた小児救急ガイドブック「目で見える救急箱」をHPで公開しています。



函館市夜間急病センター診療案内 ※午前0時まで診療

夜間急病センターは、夜の急な病気、ケガに年中無休で対応しています！

- ・内科、小児科、外科の専門医が診療を行っています。
- ・薬剤師が常駐しており、医師が必要とする日数分のお薬を処方しています。
- ・レントゲン検査、心電図検査など、医師の判断により検査を実施します。
- ・院内感染対策として、発熱や風邪症状がある方は待合室を分けています。

こんな時には、ぜひ夜間急病センターをご利用ください。

- ・子供が急に発熱！明日の朝まで様子を見ていいか不安…。
- ・急な下痢、腹痛…。朝まで待てなくはないけど、つらい。
- ・階段で転倒！救急車を呼ぶほどじゃないけど、すぐに受診したい。

◎発熱や風邪症状がある方の診療も行っております。また、新型コロナウイルス感染症で自宅療養中の方が夜間に症状が悪化した場合なども、対応可能ですが、**必ず、来院前に電話連絡をお願いします。**

◎受診の際は、健康保険証、各種医療受給者証、お薬手帳（お持ちの方のみ）をお持ちください。

【診療科目】内科・小児科・外科 【診療時間】午後7時半～午前0時

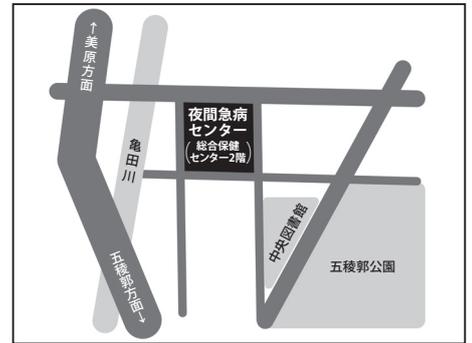
【所在地】五稜郭町23番1号（総合保健センター2階） ☎30-1199



小児科診察室



点滴室



お問合せ 地域保健課 ☎32-1512

函館市公式LINEから「休日当番医」「夜間急病センター」などの情報を見ることができます！



ステップ1

メニュー欄の「生活情報」をタップ

ステップ2

「休日・夜間診療」をタップ

ステップ3

表示されるカラーセルの中から知りたい情報をタップすると情報を見ることができます！

まだ函館市公式LINEを友だち登録していない方

下記QRコードをお使いのスマートフォンで読み取ることで、友だち登録することができます。

